



「一緒にコースをまわったときに父が撮ってくれました」と写真を提供してくれた翔くん。翔くんがゴルフを始めてから、渡辺家では父と息子の共通の話題に華が咲くことが、それまで以上に多くなったそうです



ひと - HITO -

練習すればするほど上手くなる それがゴルフの魅力かもしれない 自分なりに楽しみながら上をめざします

渡辺 翔くん(プロゴルファーをめざす高校2年生)

ゴルフを経験したことのある方なら「アベレージが70台後半、ベストスコアが75」と聞けば、「たいしていほあ」と感心するのではないでしょう。水野にお住まいの渡辺翔くんは、平成高校ゴルフ部所属の2年生が、その素晴らしいスコアの持ち主です。翔くんがゴルフを始めたのは中学2年生、今から3年前です。趣味でゴルフを楽しんでいたお父さんに誘われて初めてクラブを握ったのだそうです。

中学ではバレーボール部で熱心に活動し、3年生の夏に部活を引退。それまで熱中していたことがなくなって運動したい！ってすごく思ってたんです。そんなとき、時々父に連れて行ってもらっていたゴルフがおもしろくて夢中になりました。もともと僕は勉強よりも体を動かすことの方が好きだったから。今の高校

を受けようと決めたのもゴルフに力を入れていたからです。そこはにかみながら話します。

毎日欠かさず練習し、週に1度はコースに出る、アルバイトもゴルフ場で...その真面目さと熱意が功を奏してメキメキと上達している翔くん。技術だけでなく精神的にも成長しているようで、まだ筋肉が柔らかい中、高校生のうちから、常にベストスイングを心掛け、筋肉にその動きを覚え込ませることが上達の近道なんだそうです。などと語る言葉や口調からは、しっかりとした意志と、大人に混じってゴルフ場に通いながら身に付けたマナーの良さがうかがわれます。



そうは言ってもまだ高校生コースで他の人に「マナーやルールを理解できているのか」と厳しい目で見られたり、中には「生意気だ」と思われることもあったそうです。それでもゴルフが大好きな翔くんは「ゴルフはマナーやルールを特に重んじるスポーツだから、そういう目で見られるのは仕方ないし、僕も十分気をつけて学んでいるつもりです。でもそういう意識がゴルフの敷居を高くしている気もするので、もっと小さいうちから

ゴルフに親しめるような環境を大人の皆さんには作ってもらいたいと思うし、僕自身もゴルフの楽しさをみんなに伝えられたらいいな」と考えています。好きなゴルフを生徒継続していきたいという熱い想いととも、しっかりとしたビジョンも持っています。

目下の目標は、来年、全日本ジュニア選手権に出場して電撃関カントリー倶楽部でプレーすること。その目標に向けて、夏休みの今日も翔くんはクラブを握ります。

ものづくり 狭山人づくり の産業



おいしいぶどうは8月中旬が食べごろです

北 入曾でぶどう園を営む宮岡修さんは、就農して14年め。お父さんのぶどうを食べて育ち、小学校の文集に「日本一のぶどうを作る」と将来の夢を綴ったとか。大学卒業後は、研修のために過ごした長野県で他の果樹も見ましたが、色々試すよりも一つのことを深めたいと考え、以来、ぶどう一筋の人生です。宮岡さんが心を込めて育てたぶどうは直売中心のため、お客さまの反応が直接届きます。「農業の難しさとは別に商業としての難しさ、厳しさを感じることもあります。その分、喜んで頂いたときには、また良いものを作ろうという気持ちになります。いい仕事をして、胸を張って売れるようなぶどうを作り続けていきたいですね」と常に前向きな宮岡さん。新しい品種に取り組むなど、目標を持つことも忘れません。自分の手で作るものに気持ちや時間を惜しみなく注ぐ姿勢が、おいしいぶどうを実らせるのでしょう。
(宮岡修さん/北入曾・ぶどう栽培農家)

くらしの自営

狭山台第一住宅自治会

緑の豊かな狭山台団地五街区に居住する270世帯からなる自治会です。会は運営委員、階段委員を中心に運営されており、住民親睦行事として、ソフトボール大会、夕涼み会などをはじめ、各同好会主催の行事も各種開催されています。また、高齢者同士の交流の場として「ふれあい会」があり、月2回の集まりを中心に、楽しく活動しています。さらに、環境整理として、月1回の資源ごみ回収、2年に1回の放置自転車の整理、ごみ減量活動の推進なども実施しています。しかし、年々進む会員の高齢化が大きな問題であり、従来の「親睦行事活動」中心から、5年後の姿を想像しつつ、高齢化社会に対応した活動を模索している段階です。



Hello ハロー 仲間たち

Vol 264

「れんれん会」



今年の夏祭りは8月16日に明光寺で予定しています

私たちの会は、結成から11年目を迎え、現在会員が25家族、文字どおり「家族ぐるみ」の集まりです。水富第4区自治会の地域内が活動の場ですが、自治会とは別組織として、仲間と親睦を深めながら地域行事の手伝いなどのボランティア的な活動をしています。中でも一番大きなイベントは夏祭りです。企画から運営までを主体となつてすべて行います。昨年のお出は約500人。規模が膨らむにつれて手が足りないほどの忙しさですが、同じ目標に向かって団結し、達成したときは、充実感があふれます。大切なのは、活動の中に楽しさを見つけて、それぞれが、会を長続きさせていく秘訣だと思います。江戸時代、職業などに関係なく同じ趣味を持つ人の集まりを「連」と呼んだそうです。いつまでもつながって、輪になって、そんな思いを忘れずに、地域に根ざした活動を続けていきたいと思っています。

●問合せ

和田忠洋さんへ

☎9552 2837